

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	受口書主要文献目録 (昭和二九年五月分)
Sub Title	Books received
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1954
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.27, No.6 (1954. 6) ,p.75- 78
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19540615-0075">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19540615-0075</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 受贈書主要文献目録

(昭和一九年五月分)

はしがき

最近、當法學研究会(または法學部研究室)宛に寄贈される書籍および雜誌は、かなり多数に上り、おそれれの研究に多大の便宜があたえられてゐることは、まことに感謝にたえないのであつた。そこで、今後本欄に、受贈書を同記して、御寄題下さつた各位に對し、感謝の意を表するとともに、受贈書の主なる内容を掲載して、同様の便宜を賜ふこととした。

## 凡例

- 一、掲載は、和書および中國書・洋書に大別し、それぞれ單行書・雜誌ごとに到着順による。但し、週刊・旬刊のごときものは、適宜にまとめておいた。
- 二、内容細目は、頁数の都合上、原則として、單行書は目次の程度に、また雜誌は主要な論説・資料のみに限定する。
- 三、原則として法學、政治學、社會學に關係あるものに限る、全く關係のないものは割愛する。

## 受贈書主要文献目録

民事裁判統計年表(昭和二五年)

最高裁判所事務總局

日本法令索引(一九五一年版、追録五)

國立國會圖書館

明治大學刑事博物館目録(五號)

明治大學刑事博物館

企業會計(六卷五號)

中央經濟社

代理商に關する法改正の提唱とその問題點

中村 武

フランス監査役制度

山村 忠平

イギリス會社法概説(三)

小町谷操三

インヴェストメント(七卷四號)

大阪證券取引所

法經論集(一號)

靜岡法經短期大學

沼田理論に對する若干の覺え書的檢討

—労働法の性格把握のために—

牛尾 茂夫

日本國憲法第九條の政治學的考察

柴田 高好

長州藩諸隊の叛亂

原口 清

統計月報(五卷四號) 大阪證券取引所

法學論集(三卷三號) 關西大學法學會

ルソーの主權論とその批判 岩崎 卯一

英國に於ける歴史觀と刑事公民政治史 池田 榮

「戰爭の放棄」解釋 堀 堅士

三次元(立體)戰爭と平和的人民、その他

—H・A・スミスの見解と私見— 川上 敬逸

神戸商船大學紀要・文科論集(二號)

神戸商船大學

船員法改正の諸問題 別所 成紀

船荷證券の有因性 西島彌太郎

労働經濟判例速報(五卷一一號)

—一三號— 日經連事務所

經濟法律時報(二卷二號)

經濟法律時報社

審決と既判力 入江 一郎

不況カルテルと合理化カルテルの取扱手續 丸山 泰男

再販賣價格の維持契約をめぐる問題點 竹中喜萬太

法學志林 (五一卷四號)

法政大學法學志林協會

組織労働者の規範意識を分析して労働法の

の理論に及ぶ (二) 沼田稻次郎

グスタフ・ラアドブルッフの生涯と業績

(三) 田中吉備彦

ロシア社会民主労働黨史研究 (一)

額田 垣

警察學論集 (七卷五號)

警察大學校

日米相互防衛援助協定

密入國の概況 飯田 藤次 武野 義治

佛蘭西に於ける犯罪捜査上の権限につい

て (一)

―特に檢察と警察との關係及び中央

の犯罪捜査上の統制を中心として―

松元 秀之

警察研究 (二五卷四號)

良書普及會

刑法の自由な運用

―新しい二つの判例について―

牧野 英一

「西獨の警察」補遺 (四)

日本警察制度の再編成 (二)

土屋 正三 鶴飼 信成 奥平 康弘

民事月報 (九卷二號―四號)

法務省民事局

期限付逮捕許諾について

自治研究 (三〇卷四號)

良書普及會

東京地裁の衆議院解散無効判決について

佐藤 達夫

公務員制度における勞務管理の諸問題 (一)

小島 和司

近代ドイツ公法學の理論 (三)

ニューヨーク市財政改革案 (三)

鬼丸 勝之 綿貫 芳源 荻田 保

法學新報 (六二卷四號)

中央大學法學會

重複保險における權利の拋棄について

小町谷操三

恩給擔保金融について

―擔保、讓渡、差押についての若干

研究― 青谷 和夫

中國資料月報 (七四號)

中國研究所

中國と西歐諸國との貿易

アジア經濟旬報 (二二五號―二二六號)

中國研究所

選舉 (七卷五號)

自治廳

最高裁判所の選舉關係判決

佐野市の誤記事件の判決と上告 櫻澤東兵衛

政治資金規正法の問題點 宮崎 剛

勞働法令通信 (七卷一七號―二〇號)

勞働法令協會

日勞研資料 (七卷一七號―二二號)

日本勞働研究所

金融法務事情 (三三號―三五號)

金融財政事情研究會

國際法外交雜誌 (五三卷一・二號)

國際法學會

公船の國際法上の地位

―トリコフ船長事件について―

大平 善梧

地域主義の偏向

Trade with China Dr. T. Baty 寺澤 一

勞政時報 (一二八〇號―一二八四號)

勞務行政研究所

世界週報 (三五卷一四號—一六號)

時事通信社

裁判所時報 (一五八號)

最高裁判所事務總局

ジュリスト (五七號)

有斐閣

白木屋事件の真相

二戸岡道夫

西獨の再軍備と憲法改正

藤田 嗣雄

町村合併の功罪

鈴木 俊一

政經論叢 (三卷一號)

國學院大學政經學會

地域的協定及び機關による強制行動

神谷 龍男

御成敗式目における女性の地位

小川清太郎

H・J・ラスキの「現代の革命について  
の考察」

中島 昭三

三重法經 (二號)

三重短期大學法經學會

近代的所有の法的性格

山路 照二

名儀書換代理人の諸問題

市原 正七

法哲學の現代的課題に關する問題の提起

八木 鐵男

地方制度改革と市支配人制

中澤 慎

受贈書主要文獻目錄

行省の原初的形態について

丹羽友三郎

農村に於ける通婚圏に就いて

—三重縣多氣郡三瀨谷村の場合—

佐藤 輝美

世界の動き (二八號)

外務省情報文化局

世界月報 (九卷三號)

外務省情報文化局

中小企業協同組合 (九卷五號)

日本中小企業團體連盟

經濟理論 (一九號)

和歌山大學經濟學會

エリザベス「徒弟法」の研究

角山 榮

議決權の代理行使と合衆國聯邦法 (一)

本間 輝雄

法學論叢 (五九卷六號)

京都大學法學會

國會の國政調査權と司法權の獨立

大石 義雄

變革期における「法の支配」序説

道田信一郎

國際法と國內法との効力關係に關するア

メリカの慣行

畝村 繁

九州勞働月報 (三一號)

九州勞働調査協會

イギリスの勞働組合 (二)

清水金二郎

米國の勞働協約論

—チエンパレン氏の所説に關して—  
荒木 誠之

法令全書 (昭和二九年三月號)

大藏省印刷局

法律論叢 (二七卷五・六號)

明治大學法律研究所

民主主義諸國における統治行爲

行政手續における證據法則について (一)

山田準次郎

集團的安全保障と戰爭放棄

和田 英夫  
宮崎 繁樹

天皇という文字の初出の時期について (二)

鍋田 一

刑政 (六五卷四號)

刑務協會  
谷 貞信

精神薄弱少年の矯正

同 (五號)  
赤塚 孝

少年院運営上の諸問題

社會科學紀要(三輯)

東京大學教養學部

戰後重要立法の立法過程研究

—立法研究セミナーの成果—

小林 直樹

アメリカにおける國際關係論の研究

川田 侃

インターグループ・テンションの心理的

背景について 岩男 耕三

法と政治(五卷一號)

關西學院大學法政學會

獨立監査機關に於ける問題點 足立 忠夫

混血孤兒の問題に關する一考察

—アメリカ人との養子縁組を中心として— 西澤 修

神戸法學雜誌(三卷四號)

神戸法學會

プレスト・リトウスタク平和會議

—戰爭と平和の問題— 屋上 正男

封建期農村の家格制

—尼崎領西攝農村特に武庫郡元林村

を中心として— 大竹 秀男

着船賣買(一)

山戸 嘉一

法政研究(二一卷二號)

九州大學法政學會

中世の領事制度

—領事の名稱と選任—

企業機關に於ける分權と集權

斤先擲契約について

商法二八五條と二八八條ノ二(三號)の

關連性

アメリカのフアッシュョ化と政黨規制法

關連性 伊藤不二男 高田 源清 徳本 鎮 門司 政憲 中村 義知

同(三・四號)

企業機關に於ける獨任制と合議制

形式裁判の内容的確定力 高田 源清 井上 正治

わが國における刑法思想の發展と不能犯

社會主義社會における私生子法の二三の 西山 富夫

問題 中川 高男

中世の領事制度の特色

—領事の職務を中心として—

國際法發展の觀念とその文明史觀的把握

英國勞働黨の院外組織とその機能

伊藤不二男 櫻井 光堂

北西 允

自由中國(一〇卷九號、一〇號)

自由中國社

中國經濟(四三號) 中國經濟月刊社

世界新聞(四一號) 世界新聞社

The Harvard Law School Record

(Vol. 18, No. 2~No. 11)

Harvard Law Review

(Vol. 67, No. 6)

The Anti-trust Laws and Regulated Industries: The Doctrine of Primary Jurisdiction

Robert B. von Mehren

How Small a House?—Zoning for Minimum Space Requirements

Val Nolan

Wayne Township: Zoning for Whom?—In Brief Reply

Frank E. Horach

Charles M. Haar